



イーサネット管理ポートの設定

- [イーサネット管理ポートの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [イーサネット管理ポートに関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [イーサネット管理ポートの設定方法 \(4 ページ\)](#)
- [イーサネット管理インターフェイスでの IP アドレスの設定例 \(5 ページ\)](#)
- [イーサネット管理ポートに関する追加情報 \(5 ページ\)](#)
- [イーサネット管理ポートの機能履歴と情報 \(6 ページ\)](#)

イーサネット管理ポートの前提条件

PC をイーサネット管理ポートに接続するときに、最初に IP アドレスを割り当てる必要があります。

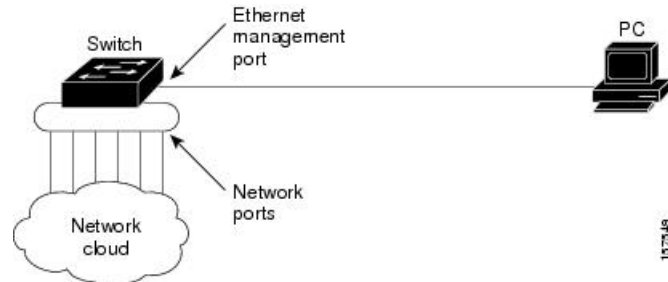
イーサネット管理ポートに関する情報

Gi0/0 または *GigabitEthernet0/0* ポートとも呼ばれるイーサネット管理ポートは、PC を接続する VRF (VPN ルーティング/転送) インターフェイスです。ネットワークの管理に、デバイスコンソールポートの代わりとしてイーサネット管理ポートを使用できます。

デバイスへのイーサネット管理ポートの直接接続

図 1: PC とスイッチの接続

次の図は、デバイスまたはスタンドアロンデバイスに対して、イーサネット管理ポートを PC



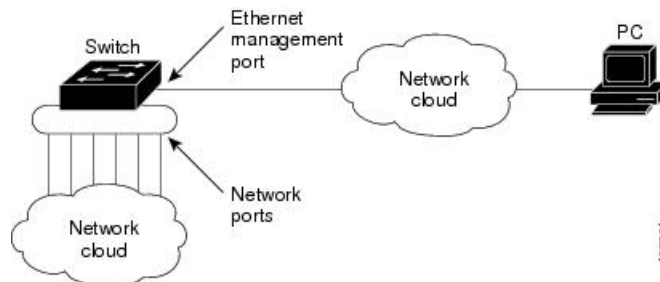
に接続する方法を示します。

イーサネット管理ポートおよびルーティング

デフォルトでは、イーサネット管理ポートは有効です。デバイスは、イーサネット管理ポートからネットワークポートにパケットをルーティングできず、その逆もできません。イーサネット管理ポートはルーティングをサポートしていませんが、ポート上でルーティングプロトコルを有効にすることが必要となる場合もあります。

図 2: ルーティングプロトコルを有効にしたネットワーク例

PC とデバイスが複数のホップ分離されていて、パケットが PC に到達するには複数のレイヤ 3 デバイスを経由しなければならない場合に、イーサネット管理ポート上のルーティングプロトコ



ルを有効にします。

上記の図では、イーサネット管理ポートとネットワークポートが同じルーティングプロセスに関連付けられている場合、ルートは次のように伝播されます。

- イーサネット管理ポートからのルートは、ネットワークポートを通してネットワークに伝播されます。
- ネットワークポートからのルートは、イーサネット管理ポートを通してネットワークに伝播されます。

イーサネット管理ポートとネットワークポートの間ではルーティングはサポートされていないため、これらのポート間のトラフィックの送受信はできません。このような状況になると、これらのポート間にデータパケットループが発生し、デバイスおよびネットワークの動作が中断されます。このループを防止するには、イーサネット管理ポートとネットワークポートの間のルートを回避するためにルートフィルタを設定してください。

サポートされるイーサネット管理ポートの機能

イーサネット管理ポートは次の機能をサポートします。

- Express Setup (スイッチ スタックでのみ)
- Network Assistant
- パスワード付きの Telnet
- TFTP
- セキュア シェル (SSH)
- Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) ベースの自動設定
- SNMP (ENTITY-MIB および IF-MIB のみ)
- IP ping
- インターフェイス機能
 - 速度 : 10 Mb/s、100 Mb/s、1000 Mb/s、および自動ネゴシエーション
 - デュプレックス モード : 全二重、半二重、自動ネゴシエーション
 - ループバック検出
- Cisco Discovery Protocol (CDP)
- DHCP リレー エージェント
- IPv4 および IPv6 アクセス コントロール リスト (ACL)
- ルーティング プロトコル



注意 イーサネット管理ポートの機能をイネーブルにする前に機能がサポートされていることを確認してください。イーサネット管理ポートのサポートされていない機能を設定しようとすると、機能は正しく動作せず、デバイスに障害が発生するおそれがあります。

イーサネット管理ポートの設定方法

イーサネット管理ポートのディセーブル化およびイネーブル化

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | configure terminal 例： Device# configure terminal | グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。 |
| ステップ 2 | interface gigabitethernet0/0 例： Device(config)# interface gigabitethernet0/0 | CLIでイーサネット管理ポートを指定します。 |
| ステップ 3 | shutdown 例： Device(config-if)# shutdown | イーサネット管理ポートをディセーブルにします。 |
| ステップ 4 | no shutdown 例： Device(config-if)# no shutdown | イーサネット管理ポートをイネーブルにします。 |
| ステップ 5 | exit 例： Device(config-if)# exit | インターフェイスコンフィギュレーション モードを終了します。 |
| ステップ 6 | show interfaces gigabitethernet0/0 例： Device# show interfaces gigabitethernet0/0 | リンク ステータスを表示します。 PC へのリンク ステータスを調べるには、イーサネット管理ポートの LED をモニタします。リンクがアクティブな場合、LED はグリーン（オン）であり、リンクが停止中の場合は、LED はオフです。POST エラーがある場合は、LED はオレンジです。 |

次のタスク

イーサネット管理ポートを使用したスイッチの管理または設定に進みます。「ネットワーク管理」の項を参照してください。

イーサネット管理インターフェイスでの IP アドレスの設定例

次に、管理インターフェイスで IP アドレスを設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Switch(config)# interface gigabitethernet1/0/1
Switch(config-if)# vrf forwarding Mgmt-vrf
Switch(config-if)# ip address 192.168.247.10 255.255.0.0
Switch(config-if)# end
```

```
Switch#show running-config interface Gi0/0
Building configuration...
```

```
Current configuration : 118 bytes
!
interface GigabitEthernet0/0
vrf forwarding Mgmt-vrf
ip address 192.168.247.10 255.255.0.0
negotiation auto
end
```

イーサネット管理ポートに関する追加情報

関連資料

| 関連項目 | 参照先 |
|-------------|--|
| ブートローダ設定 | このガイドの「システム管理」の項を参照してください。 |
| ブートローダ コマンド | 「システム管理コマンド」の項 <i>Command Reference (Catalyst 9500 Series Switches)</i> を参照してください。 |

MIB

| MIB | MIB リンク |
|----------------------|---|
| 本リリースでサポートするすべての MIB | <p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィッチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p> |

テクニカル サポート

| 説明 | リンク |
|---|---|
| <p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Product Alert Tool（Field Notice からアクセス）、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication（RSS）フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p> | http://www.cisco.com/support |

イーサネット管理ポートの機能履歴と情報

| リリース | 変更箇所 |
|------------------------------|---------------|
| Cisco IOS XE Everest 16.5.1a | この機能が導入されました。 |